



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社プラザクリエイト本社
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁

TEL 03-3532-8812

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,759	△19.6	△196	—	△161	—	△312	—
2020年3月期第2四半期	10,891	12.0	△522	—	△522	—	△542	—

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 △305百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △543百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△24.61	—
2020年3月期第2四半期	△42.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	11,560	1,911	16.6	150.66
2020年3月期	12,542	2,305	18.4	181.72

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 1,911百万円 2020年3月期 2,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
 2021年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では合理的な業績予想の算出が困難なことから、引き続き「未定」とし、今後、合理的に予想可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	13,836,258 株	2020年3月期	13,836,258 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,146,701 株	2020年3月期	1,146,701 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	12,689,557 株	2020年3月期2Q	12,819,557 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたプリント事業の構造変革に積極的に取り組んで参りました。

モバイル事業におきましては、法改正等の外部環境の大きな変化の中、スマートフォン販売において、収益力の高い店舗の運営に集中すべく併売店9店を閉店した結果、売上高は減少しました。一方、前連結会計年度における店舗数拡大によって当第2四半期連結累計期間において販売台数を積み増し、スマートフォン関連商材の提供にも取り組むなどして量的にも、質的にも代理店として地位を高めてまいりました。前連結会計年度より推し進めて参りました販売力強化を目的とした従業員の育成施策を引き続き講じることにより、代理店としての機能を強化していく所存であります。また、昨今の社会情勢を受けて高まる企業ニーズに対応し強化してまいりました法人顧客の開拓におきましても、行政によるテレワーク助成金の後押しなどにより、顧客数と高粗利商材の獲得が大きく伸びました。

プリント事業におきましては、当該期間において新たにリリース致しました、業界初、銀塩プリントによる当日仕上げフォトブック「すぐアル」が好調に推移したほか、アナログメディアのデジタル変換サービス「なんでもダビング」の商品リニューアルが、単籠り需要も追い風となり、前第2四半期連結累計期間と比べ、受注件数は順調に推移しましたが、新型コロナウイルスになどの影響により、旅行、ライブイベント、その他各種イベント、催事等の開催自粛などにより写真を撮る機会が減ったことから、売上高は減少しました。

パレットプラザ店舗の運営形態のフランチャイズ化を引き続き注力してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間末にはフランチャイズ店舗は184店（前第2四半期連結累計期間末：121店舗）となりました。

直営運営事業から卸売り事業への業態転換による収益構造の変化に応じた事業構造改革により費用構造を抜本的に見直し、収益性の向上に注力してまいりました。

ハンドメイドをだれでも楽しめるDIYクラフトキット『つくるんです®』は、ラインナップの拡充なども功を奏すなど、引き続き好調に推移し、販売開始した2018年秋以降の、シリーズ累計出荷数が63万個まで到達いたしました。今後も『つくるんです®』ブランドを新たな当社の収益の柱とすべく、ブランディング及び製品開発をさらに強化していく所存です。

経済活動が大きく制限される環境下、感染予防対策を徹底し、新たな生活様式に則った店舗整備や接客の標準化を図り、お客様と従業員の安全確保に努めながら営業を継続いたしました。引き続き、“小売業”から“企画会社”への業態の一新を加速させるべく、取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、87億59百万円（前年同期比19.6%減）となりました。利益面では、営業損失1億96百万円（前年同期：営業損失5億22百万円）、経常損失1億61百万円（前年同期：経常損失5億22百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億12百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失5億42百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①プリント事業

当第2四半期連結累計期間のプリント事業においては、パレットプラザの直営運営事業から卸売り事業への移行に加え、コロナ渦の影響による売上の減少も影響し、売上高は20億35百万円（前年同期比32.3%減）、セグメント損益は6億2百万円の損失（前年同期：5億25百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第2四半期連結累計期間のモバイル事業においては、法人向けの高粗利商材の販売が好調に推移したことなどにより、売上高は67億24百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は4億24百万円（前年同期比：1,461%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は115億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億81百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が2億94百万円、商品及び製品が2億4百万円、その他流動資産が1億39百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は96億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億87百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が4億33百万円、短期借入金が増加し、1億77百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は19億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億94百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億12百万円、配当金の支払額88百万円などにより利益剰余金が4億1百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の18.4%から16.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、16億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が2億22百万円増加し2億27百万円の収入（前年同期 5百万円の収入）となりました。主な要因は、たな卸資産の増減による収入の減少3億93百万円、仕入債務の増減による支出の減少2億30百万円、などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が2億44百万円減少し1億25百万円の支出（前年同期 3億69百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少1億46百万円、無形固定資産の取得による支出の減少32百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が1億37百万円減少し1億4百万円の支出（前年同期 32百万円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金の借入れによる収入の減少5億円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結会計期間において新型コロナウイルスの感染拡大により、当社のすべての事業の実店舗網（FC店含む）では、以下の理由により売上高減少などが発生しております。

- ①路面店の営業時間短縮や営業休止、ショッピングモール等の商業施設自体の営業時間短縮や営業休止に伴う店舗稼働時間の減少によるもの
- ②外出自粛に伴う客数減少によるもの

当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響については、「緊急事態宣言」解除後は、自粛要請は緩和され、全店で営業を再開し、政府による、「Go To トラベル」等の政策により写真を撮る機会が増加する事が期待できますが、世界的な流行拡大は続いており、国内においても感染の再拡大やその長期化が懸念されていることなどから、依然として今後の事業環境における影響等が不透明な状況であります。

したがって、現時点で業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから2021年3月期の連結業績見通しについては未定としています。

今後、状況が収束し合理的な業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,642,456	1,640,300
受取手形及び売掛金	1,912,038	1,617,523
商品及び製品	1,537,509	1,332,882
原材料及び貯蔵品	170,236	216,554
その他	790,623	651,474
流動資産合計	6,052,864	5,458,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,579,966	2,576,230
減価償却累計額	△1,038,593	△1,063,405
建物及び構築物(純額)	1,541,373	1,512,825
機械装置及び運搬具	2,023,297	1,785,971
減価償却累計額	△1,894,057	△1,634,548
機械装置及び運搬具(純額)	129,240	151,422
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	2,016,245	2,002,667
減価償却累計額	△1,325,207	△1,458,481
リース資産(純額)	691,038	544,185
その他	1,028,859	998,165
減価償却累計額	△741,509	△752,236
その他(純額)	287,349	245,928
有形固定資産合計	4,160,251	3,965,611
無形固定資産		
のれん	66,959	44,406
リース資産	153,092	78,067
その他	214,675	209,367
無形固定資産合計	434,727	331,841
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,654,290	1,581,355
その他	252,770	235,675
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	1,894,771	1,804,740
固定資産合計	6,489,750	6,102,193
資産合計	12,542,614	11,560,929

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,369	983,385
短期借入金	3,373,645	3,196,608
リース債務	373,208	340,382
未払法人税等	11,593	5,796
賞与引当金	124,209	141,647
その他	1,057,032	939,804
流動負債合計	6,357,058	5,607,624
固定負債		
長期借入金	2,673,117	3,027,423
リース債務	640,252	479,976
資産除去債務	214,047	202,673
退職給付に係る負債	77,852	71,138
長期預り保証金	229,665	216,184
その他	44,674	44,041
固定負債合計	3,879,609	4,041,438
負債合計	10,236,668	9,649,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,326,253	925,143
自己株式	△361,379	△361,379
株主資本合計	2,293,370	1,892,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,575	19,606
その他の包括利益累計額合計	12,575	19,606
純資産合計	2,305,946	1,911,866
負債純資産合計	12,542,614	11,560,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2 四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2 四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2 四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,891,168	8,759,936
売上原価	7,326,723	5,599,456
売上総利益	3,564,445	3,160,479
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	618,080	264,432
給料手当及び賞与	1,042,527	1,162,279
賞与引当金繰入額	121,008	140,196
雑給	409,840	254,279
賃借料	571,831	537,166
のれん償却額	24,632	25,284
その他	1,299,361	973,616
販売費及び一般管理費合計	4,087,283	3,357,255
営業損失(△)	△522,838	△196,776
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,075	870
協賛金収入	23,356	24,000
償却債権取立益	6,500	5,750
助成金収入	-	36,443
その他	8,045	15,075
営業外収益合計	38,977	82,140
営業外費用		
支払利息	36,491	35,468
その他	2,495	11,437
営業外費用合計	38,987	46,906
経常損失(△)	△522,847	△161,542
特別利益		
固定資産売却益	2,289	31
受取補償金	34,000	-
特別利益合計	36,289	31
特別損失		
減損損失	26,643	140,196
店舗閉鎖損失	18,295	6,438
特別損失合計	44,939	146,635
税金等調整前四半期純損失(△)	△531,498	△308,145
法人税、住民税及び事業税	6,386	5,796
法人税等調整額	4,995	△1,658
法人税等合計	11,381	4,137
四半期純損失(△)	△542,880	△312,283
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△542,880	△312,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第2 四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2 四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2 四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△542,880	△312,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△443	7,030
その他の包括利益合計	△443	7,030
四半期包括利益	△543,323	△305,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△543,323	△305,252
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2 四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2 四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△531,498	△308,145
減価償却費	377,079	308,373
減損損失	26,643	140,196
のれん償却額	24,632	25,284
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,581	△6,714
受取利息及び受取配当金	△1,075	△870
支払利息	36,491	35,468
固定資産売却損益(△は益)	△2,289	△31
受取補償金	△34,000	-
助成金収入	-	△36,443
売上債権の増減額(△は増加)	250,268	294,515
たな卸資産の増減額(△は増加)	552,033	158,308
仕入債務の増減額(△は減少)	△664,097	△433,984
その他	△9,608	61,375
小計	20,000	237,332
利息及び配当金の受取額	1,072	868
利息の支払額	△37,074	△35,090
助成金の受取額	-	36,443
補償金の受取額	34,000	-
法人税等の支払額	△12,773	△11,593
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,225	227,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△266,945	△120,555
有形固定資産の売却による収入	3,326	4,778
無形固定資産の取得による支出	△98,952	△66,648
その他	△7,425	56,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△369,997	△125,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250,002	-
長期借入れによる収入	1,500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△916,695	△822,730
配当金の支払額	△89,171	△88,699
リース債務の返済による支出	△259,621	△193,101
セール・アンド・リースバックによる収入	48,355	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,865	△104,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△331,906	△2,155
現金及び現金同等物の期首残高	1,153,745	1,642,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	821,838	1,640,300

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2 四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,005,554	7,885,614	10,891,168	10,891,168	—	10,891,168
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,005,554	7,885,614	10,891,168	10,891,168	—	10,891,168
セグメント利益又は損失(△)	△525,233	27,212	△498,021	△498,021	△24,817	△522,838

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,817千円には、セグメント間取引消去額1,905千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△179,002千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額152,280千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第2 四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において21,012千円、「モバイル事業」において5,631千円であります。

II 当第2 四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,035,936	6,724,000	8,759,936	8,759,936	-	8,759,936
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,035,936	6,724,000	8,759,936	8,759,936	-	8,759,936
セグメント利益又は損失(△)	△602,644	424,791	△177,852	△177,852	△18,924	△196,776

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,924千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,204千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額152,280千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2 四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において110,459千円、「モバイル事業」において19,902千円、全社費用9,834千円であります。